

令和 6年度

事務事業評価表 ( 令和 5年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 6 年 4 月 15 日

事務事業名		ICT技術を活用した英会話交流事業					事業区分		担当	
							新規/継続	継続	事務事業No.	020101001002
							単独/補助	単独	所属課	090101
政策体系	総合計画の施策名	0201 学校教育の充実							所属課	学校教育課
	政策名	02 生きがいを育む学びのまちづくり							課長名	
	施策名	01 学校教育の充実							グループ	企画・営繕グループ
	手段名	01 ①教育内容の充実							担当者名	
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
01	10	01	02	07	00	ICT技術を活用した英会話交流事業	単年度繰返し (平成29年度~)			
法令根拠						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	<p>市内の小学校とフィリピンのバコール市にある小学校をインターネットビデオ通話を通して結び、児童の英語教育の充実を図ることを目的として実施する。また、交流の中で、お互いの生活や文化などを教え合うことで、英語を学習する意欲を高め、国際的に活躍できる児童の育成も図っていく。</p> <p>※令和5年度の交流は、9月から交流が開始。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>事前調査、視察地情報収集、視察地決定、学校説明</li> <li>視察研修準備、交流小学校決定</li> <li>交流校との打ち合わせ</li> <li>市内交流校の決定</li> <li>現地視察研修の実施</li> <li>施設整備 (テレビモニター他機器の設置)</li> <li>英会話助手の選定</li> <li>英会話交流のサポート</li> <li>実績報告書の作成</li> </ul>	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・市内とフィリピンの交流校を決定及び事業の説明 ・現地視察研修の実施 ・施設整備 (テレビモニター他機器の設置) ・英会話助手の選定 ・英会話交流のサポート ・実績報告書の作成	スカイプを活用した交流回数		58.00	102.00	180.00	180.00	180.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度
市内小学校・義務教育学校の児童	市内児童数		1,647.00	1,626.00	1,494.00	1,405.00	1,405.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度
英語学習に取り組む動機づけとなる。	交流を行った延べ児童数		259.00	447.00	450.00	450.00	450.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	使用料・手数料	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	312	1,687	5,139			
	事業費計 (A)	千円	312	1,687	5,139			
正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人				

05年度事業費 実績 (千円)

06年度事業費 予算 (千円)

05年度事業費 実績 (千円)	06年度事業費 予算 (千円)
01 報酬 535	01 報酬 2,613
08 旅費 343	03 職員手当等 910
10 需用費 92	08 旅費 835
12 委託料 378	10 需用費 163
17 備品購入費 339	12 委託料 418
	17 備品購入費 200
合計 1,687	合計 5,139

(4) 当該年度の実施内容

当該年度の実施内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容	08年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業計画</li> <li>英会話助手の採用</li> <li>学校への説明</li> <li>交流の開始</li> <li>実績報告書の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業計画</li> <li>英会話助手の採用</li> <li>学校への説明</li> <li>交流の開始</li> <li>実績報告書の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業計画</li> <li>英会話助手の採用</li> <li>学校への説明</li> <li>交流の開始</li> <li>実績報告書の作成</li> </ul>

事務事業名	ICT技術を活用した英会話交流事業	事務事業No.	20101001002	所属課	学校教育課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
全国でICTを用いた英会話交流事業が普及し始め、桜川市でも平成27,28年頃から市内の児童を対象に英語力の向上を目指して、ICTを用いた交流事業を推進すべきという話が出てきた。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
関係者からは、市内の全ての小学校と義務教育学校が交流できるようにと要望があるため、多くの児童が交流できるように進めていきたい。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ICTを用いて海外の児童・生徒と触れ合うことで、英語を身近に感じ、英語への学習意欲を高めることができています。また、異文化への理解も深めていることは、政策体系に結びつく。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 小学校から英語の授業が始まっており、児童に英語に触れ合う機会を与え、英語力の向上を目的としているため、妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 市内の2つの小学校が新しく交流に参加することとなった。まだ、交流を行っていない学校もあるので多くの学校で児童が交流に参加できるように進めていきたい。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 児童の英語に触れ合う機会が少なくなってしまう。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 相手学校の選定や備品について桜川市の負担が増えないように必要最小限の費用でやっている。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 教育の一貫として事業を展開しており、今後対象となる学校を増やしていくため、公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																											
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	市内の2つの小学校が新たに交流に参加することができ、交流できる学校を増やすことができた。交流を行った児童を対象にしたアンケート調査では、多くの児童が「交流が楽しかった」「英語に興味を持つことができた」とあり、楽しんで英語を話している様子が分かる。一方で、交流をサポートする英会話助手の必要人員を確保することができなかった。																											
②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																											
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">維持</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上	コスト			削減	維持	増加	維持	向上		○		低下				低下	向上				低下			
成果	向上	コスト																											
		削減	維持	増加																									
維持	向上		○																										
	低下																												
低下	向上																												
	低下																												
(6) 事務事業優先度評価結果		①																											

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認